

## 循環式培養システムを用いたシオミズツボウムシの連続培養

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-08-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森田, 哲男, 小磯, 雅彦, 今井, 正, 手塚, 信弘, 山本, 義久 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010544">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010544</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



## 循環式培養システムを用いたシオミズツボワムシの連続培養

森田哲男・小磯雅彦・今井 正・手塚信弘・山本義久

簡易で、効率よく懸濁物除去やアンモニアの硝化が可能な循環式のS型ワムシ連続培養システムを製作し、培養水槽1000L、水温25℃、塩分26psu、循環水量650L/日の条件で25日間の培養実験を行い、流水式培養と比較した。循環式では硝酸の蓄積が生じるものの、アンモニアの蓄積は流水と同様の傾向で有害な非解離アンモニアの蓄積は2.0mg/L以下であった。総収穫数は390.8～402.1億個体であり、流水式の379.7～396.5億個体と同等であった。また、廃水量は20L/日程度と流水式の約1/30であり、培養コストも5回程度繰り返すことで流水式より安価であった。

水産技術, 6 (1), 45-55, 2013